

発展に貢献 5団体受賞

岡山県農林漁業近代化表彰

先進的な技術や経営で農林漁業の発展に貢献している岡山県内の団体を顕彰する2024年度の「県農林漁業近代化表彰」（県、山陽新聞社主催）は、27日に県庁で表彰式が開かれる。農林水産関

27日に式

係者17人が3県民局から推薦された6団体を審査し、5団体（農産2、園芸、畜産、水産各1）を選んだ。受賞団体の取り組みを紹介する。



新施設では、卵の発育に応じた温度調節ができる最新鋭のふ卵機を活用。ふ化率は従来より約3%高い92%超と全国トップに。ひなの体長も1センチ以上大きく育てられるようになった。生産ラインの自動化も進み、スタッフ1人当たりの出荷量は1・5倍程度に増えたという。

（南原久人）

ブロイラーを代表する品種「チャンキー」のひなのふ化と販売を手がける種鶏場。1931年創業で90年を超える生産実績を持つ。2020年には最先端のオランダ製ふ卵施設を導入し、品質アップと作業の効率化に取り組んでいる。

現在20年前の2倍超に当たる年間2850万羽を中四国や近畿、東海、九州地方の養鶏場に出荷する。3代目の山上祐一郎社長（53）は「創業時から『よい雛』づくりを社是に掲げてきた。今後もお客さまのために手頃な価格で高品質なひなを届けることを追い求める」としている。

畜産部門

株式会社福田種鶏場
（岡山市東区瀬戸町肩脊）

最新鋭ふ卵機活用



最新鋭のふ卵機の状態を確認する山上社長